

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検分解組立 調整検査 1	阿納 弘通	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	21	前期	必修
授業の概要	オートマティック・トランスミッション(AT)の構造・自動変速について、分解・組み立てを通して作動原理を学ぶ。						
授業の進め方	実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	オートマティック・トランスミッション(AT)に関する名称・役割を理解し、自動変速について説明できるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 6	オートマティック・トランスミッション	分解組立により実際のATの内部構造を理解する。					
7 ～ 9	オートマティック・トランスミッション	構成部品の働きと役割を理解する。					
10 ～ 12	オートマティック・トランスミッション	各センサの働きを理解する。					
13 ～ 15	オートマティック・トランスミッション	各クラッチ、ブレーキ類の役割を理解する。					
16 ～ 18	オートマティック・トランスミッション	各シフトにおける作動部品と動力伝達経路の確認と変速比の計算方法を説明できるようになる。					
19 ～ 21	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書:全国自動車大学校・整備専門学校協会「シャシ構造Ⅰ」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検分解組立 調整検査 2	阿納 弘通	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	18	前期	必修
授業の概要	分解組立作業により、油圧式パワー・ステアリング装置の構造・作動原理を学ぶ。						
授業の進め方	教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	油圧式パワー・ステアリングに関する名称・役割を理解し、作動について説明できるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 3	油圧式パワー・ステアリング	パワーステアリング装置の仕組みについて理解する。					
4 ～ 6	油圧式パワー・ステアリング	各部装置と役割について理解する。					
7 ～ 9	油圧式パワー・ステアリング	分解組立要領について理解する。					
10 ～ 15	油圧式パワー・ステアリング	フルードの特性と油量の点検方法を理解し、エア抜き作業ができるようになる。					
16 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会「二級自動車シャシ」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検分解組立 調整検査 3	阿納 弘通	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	21	前期	必修
授業の概要	大型車のトランスミッションおよびCVTの構造について分解・組立を通して学ぶ。						
授業の進め方	教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	乗用車と大型車のトランスミッションの違いと特色を知る。また、CVTの分解をとおして作動原理を理解し、それらを構成する部品の名称・役割を説明できるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1	大型車 マニュアル・トランスミッション	ミッションの分解組立手順について理解する。					
2							
3	大型車 マニュアル・トランスミッション	分解組立を通して、動力の伝達経路を理解する。					
4							
5	大型車 マニュアル・トランスミッション	分解作業過程中、使用する特殊工具の種類と使い方を理解する。					
6							
7	大型車 マニュアル・トランスミッション	トランスミッションの構造・構成部品・役割を理解する。					
8							
9	大型車 マニュアル・トランスミッション	トランスミッションの作動と点検法について理解する。					
10							
11	大型車 マニュアル・トランスミッション	シンクロメッシュ機構の作動と点検方法について理解する。					
12							
13	CVT (無段変速式AT)	CVTの分解・組み立てを通して、内部構造を確認し作動を理解する。					
14							
15 ～ 18	CVT (無段変速式AT)	CVTの各部品の名称役割を理解する。					
19 ～ 21	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会「二級自動車シャシ」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検 分解組立調整検査 4	全教員	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	55	通年	必修
授業の概要	実動車を使用し、シャシ部品等の点検・分解・組立・調整・検査を行う。						
授業の進め方	各班ローテーションにて、教習車や教材車の点検整備等を行い、必要に応じた整備作業を実施する。						
到達目標	就職後の企業にて即戦力として働けるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 52	応用点検実習	<p>様々な教材車を使用し、実動車の点検・整備ができるようになるための実習を行う。</p> <p>自動車学校にて実動している様々な教習車の点検等を実施し、消耗品や不具合部品の発見を行う。</p> <p>必要に応じて部品の交換・調整を行い、安全に走行できる状態へと修復する。</p> <p>必要に応じて車両の検査を行い、安全に走行できる状態であることを確認する。</p>					
53 ～ 55	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	必要に応じた資料を配布する。						
アドバイス	就職して即戦力となるように努力してください。また、安全作業を徹底し正しい作業方法を身につけてください。						